

屋根も壁もない・・・市内が全部博物館・・・



第8号

2011. 7. 1



せかいをかけた おんな

かわかみさだやっこ (愛称は「ちがさき丸ごと博物館」)

# 世界を翔けた女 川上貞奴

(文：長嶺敬子 白黒写真：川上浩氏、川上初氏所蔵)

川上音二郎没後100年・川上貞奴生誕140年 …茅ヶ崎市の行事に合わせて…



川上貞奴は日本初の女優。その美貌と才能は多くの人々をとりこにしました。新派劇の先覚者であった川上音二郎とともに茅ヶ崎市に住まいを構えていました。

今年は奇しくも 上記のような節目の年に当るようです。そうそう何度も『没後100年・生誕140年』などという区切りの年に巡り合わせる事などありません。

経歴は違えども川上音二郎と川上貞奴は レッキとした夫婦です。どちらの業績が上で どちらが先で…という間柄ではありません。そこで この場は『ディファスト!』ということで川上貞奴からお伝えしていきたいと思います。私は どうしても女性の目線でこの夫婦を見てまいります。よって『川上貞奴』を軸に三人の男性を絡ませながら年代を追って話を進めたいと思います。

尚 平成23年9月3日(土)には、ちがさき丸ごと博物館主催の講演会でこの題材を詳しくお話することになっています。この紙面では川上貞奴の歩みのキーワードを年表風にまとめていますが、内容が分かりにくい点が多々あるかと思しますので、この特集号をぜひご持参のうえ講演会にお集まりいただければと思います。

解説をまじえながら あまたの映像を通して 川上貞奴という女性を ご一緒にひも解いていけたらな・・・と 切に願うものであります。それでは 川上貞奴の素敵で波乱万丈な生涯にレディーゴー!



音二郎・貞夫妻

- 明治4年 川上貞奴(本名 小山貞) 東京日本橋に12人兄弟の末っ子に生まれる。実家は質屋。
- 明治10年 倒産 日本橋葎町芸者置屋(現在:料亭)「濱田屋」の養女になる。
- 明治15年 12歳 「小奴」
- 明治20年 16歳 「奴」襲名 伊藤博文が身請けする。
- 明治22年 大日本帝国憲法発布



明治憲法の碑



明治憲法草案起草の跡  
<1>



旧 伊藤博文金沢邸

実は 実話・・・貞・小奴時代 ♡初恋♡ 岩崎桃介

18歳慶応義塾の学生。ところが・・・失恋に終わる

明治17年「とらない」という念書あり

藤田傳三郎・内海忠勝・井上馨・伊藤博文 4人の連名

さて ここで 肝腎なお相手 川上音二郎 を登場させなければ・・・

音二郎 元治元年 九州は博多 中対馬小路 藍間屋に生まれる。

祖父は 黒田侯の御用商人を務める。

次男の父は 遊芸の好きな人だったとか・・・

母は 音二郎11歳の時に死去。

母の没後 郷里を捨て旅に出る。(明治10年 西南戦争の年)



岩崎桃介

明治16年 滋賀県大津の劇場で政談演説会を催し 大津警察署へ拘引される。(朝野新聞2/8)  
滋賀県内にて1ヵ年間 政治講談を禁止されるが 滑稽演説会と称して開催す。  
(朝野新聞2/10)

・・・新聞報道を拾い上げるだけでも 彼の生き様がわかる。

明治24年 芝居といえば歌舞伎そのもの。

それを 演劇、新派劇という耳慣れない新語で上演。

貞奴 前評判のいい「板垣退助遭難実記」をはじめて観る。

・・・座長はもちろん音二郎。ひと目で惚れる。

明治27年 音二郎・貞 結婚す。音二郎30歳、貞23歳・・・貞 芸妓をやめる。

明治29年 9代目・市川團十郎 小和田海岸に6000坪の土地を買い

明治32年頃「弧松庵」を建てて住む。



茅ヶ崎市平和町にある記念碑

音二郎・貞 自前の劇場「川上座」を神田三崎町に建てる。・・・多額な負債。

選挙に打って出るも落選。

川上座は 人手に渡り その後全焼す。



川上座記念碑



在りし日の川上座

明治31年9月 二人とも 厭世観。小さな手漕ぎの舟で日本脱出をはかるが失敗。

明治32年 スポンサーが現れ 川上一座 19名 アメリカに渡る。

最初の上陸地点 西海岸サンフランシスコ・・・芸名がない。

そこで『マダム貞奴』誕生。

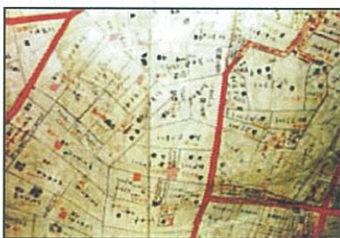
さらに大陸横断。シカゴ・ボストンへ

明治33年 さらに 海を渡って ロンドン・パリへ 行く先々で大成功！

明治34年 帰国。新橋停車場に着く。その後 再度渡欧。

明治35年 帰国。わが茅ヶ崎に邸宅を構える。「萬松園」伊藤博文 命名。西園寺公望 筆。

川上別荘の面積 3000坪？ 3000㎡？ 4500坪？ 1216坪？ 別荘地の区分けは？？

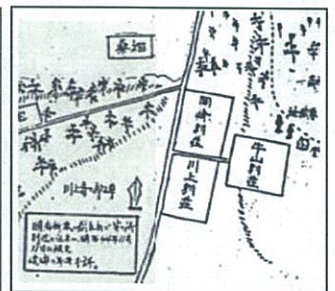


川上邸付近の地籍図



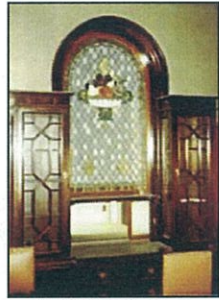
高砂緑地に残る井戸

<2>

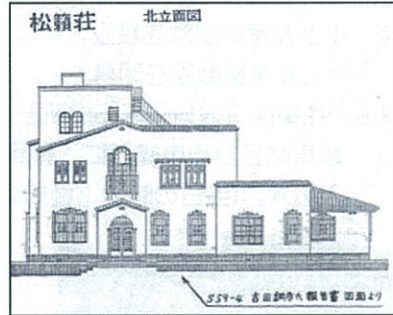


川上邸と付近の図

…その別荘は 大正8年 原安三郎が買い取り 昭和8年「松籟荘」を完成。  
それも 昭和59年 惜しまれつつ消える。



松籟荘の内部



明治36年 「オセロ」 明治座で上演。 日本初の女優、女優第1号の誕生。

團十郎の死。音二郎は別荘までの道普請をする。  
その頃から 子ども向け芝居。「浮かれ胡弓」で全国行脚。

明治42年 伊藤博文 ハルピンで射殺される。至近距離で。

明治43年 音二郎・貞奴一座の城「帝国座」が大坂に完成。

明治44年 音二郎死去 享年 47歳。貞は盛大な葬儀を執り行う。

音二郎 故郷に帰り 承天寺に眠る。奇しくも今年は 没後100年。

明治45年 明治天皇崩御。大葬の礼の2ヵ月間 茅ヶ崎で静かな日々を過ごす。

夫の死後 貞ひとりで頑張っても築いた城はもちこたえられず  
とうとう「帝国座」人手にわたる。

貞は 音二郎の銅像を 泉岳寺に建てようとして猛反対にあう。

結局、上野 谷中墓地に建てる。



谷中の音二郎碑



帝国座



博多の音二郎墓

貞『音二郎追悼公演』に打ち込む。昔の恋人 ♥岩崎(福沢)桃介♥と再燃。

貞 スキャンダルの女王となる。

「桃介危篤」の報に 貞 舞台に穴。…… 引退を決意する。

大正6年 『引退興行』 明治座にて行う。大阪 博多でも興行。

大正7年 貞 47歳 桃介・貞 名古屋二葉御殿に住む。

桃介 木曾川上流『大井ダム建設』にとりかかる。



名古屋の二葉御殿



文化のみち 二葉館

一方 貞は  
 大正7年 名古屋市に 川上絹布会社を設立。  
 大正13年 採算取れず 絹布会社をたたむ。  
 大正14年 川上児童楽劇園を設立。  
 昭和7年 川上児童楽劇園を閉幕。

貞 最後の仕事は『自分の眠る場所』をこしらえること。  
 昭和8年 岐阜県各務原市鵜沼に 貞照寺建立。  
 入仏式。(当日の映像：貞奴の動く姿あり)



鵜沼の貞照寺



貞奴の墓

向かいに 貞の住居『萬松園』を建設。2000坪、25部屋 贅を尽くす。

昭和13年 桃介 他界。

昭和21年 貞 熱海の別荘にて 永眠 75歳



桃介の墓



現在の萬松園



音二郎の息子 常三

【付記】

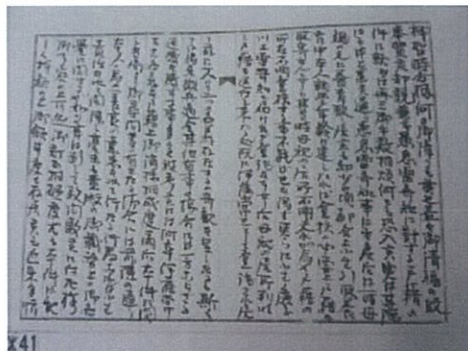
音二郎・貞と茅ヶ崎 伊藤里之助町長との手紙のやり取り。(伊藤紀一郎氏所蔵)

その1 茅ヶ崎市史 音二郎から里之助への書簡

「二重戸籍につき我が子 常三の戸籍抹消願い」

その2 音二郎の病状を気遣う 里之助からの書簡

それに対する 貞からの礼状などが現存。



音二郎から伊藤町長宛の手紙



演技をする貞奴



# 川上音二郎の隠し部屋

明治末期から昭和まで

(文・他 山本 隆)



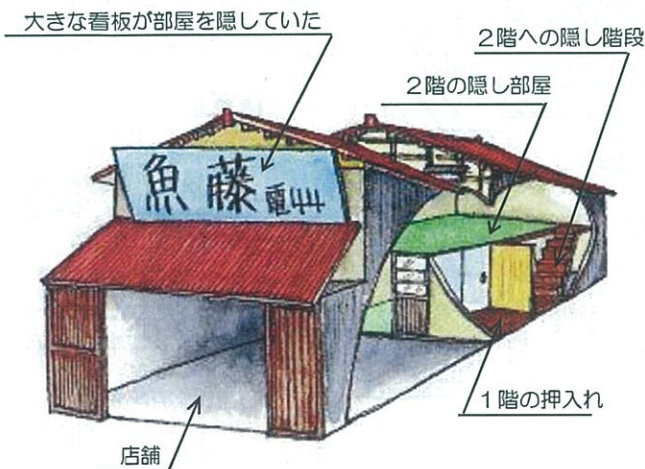
博多・中州商店街入り口にある川上音二郎像

明治31年に東海道線に茅ヶ崎駅が出来ると、その停車場通りにいち早く店舗を構えたのが「魚藤」であった。当時、この町に魚市場など無く、仲買人と小売りを兼ね、海岸方面、別荘地区には御用聞きを、マグロ、カツオなどの大物は、関西、東北へ電話で取引をした。地方では「アア、茅ヶ崎の魚藤か」と信用度は高かった。

川上音二郎(1864~1191)は、明治20年代、自由民権運動をからませた「オッペケペー節」で人気を博しましたが、その政治的表現のため20回以上も逮捕されるなど、血気盛んな性格で新しい演劇(新派劇)をも牽引しました。そのような中、明治30年代の一時期、茅ヶ崎市の停車場通り(現エメロード)で魚店を営んでいた「山本藤吉宅」(魚藤)の中二階(八畳の屋根裏部屋)に隠れ住んでいたことがありました。このことを先代から聞かされていた現当主の山本隆氏は、子供の頃その部屋を勉強部屋として使っていたといいます。今回は、山本さんに、その隠し部屋のこと、そして茅ヶ崎駅周辺の歴史的一面を語っていただきました。



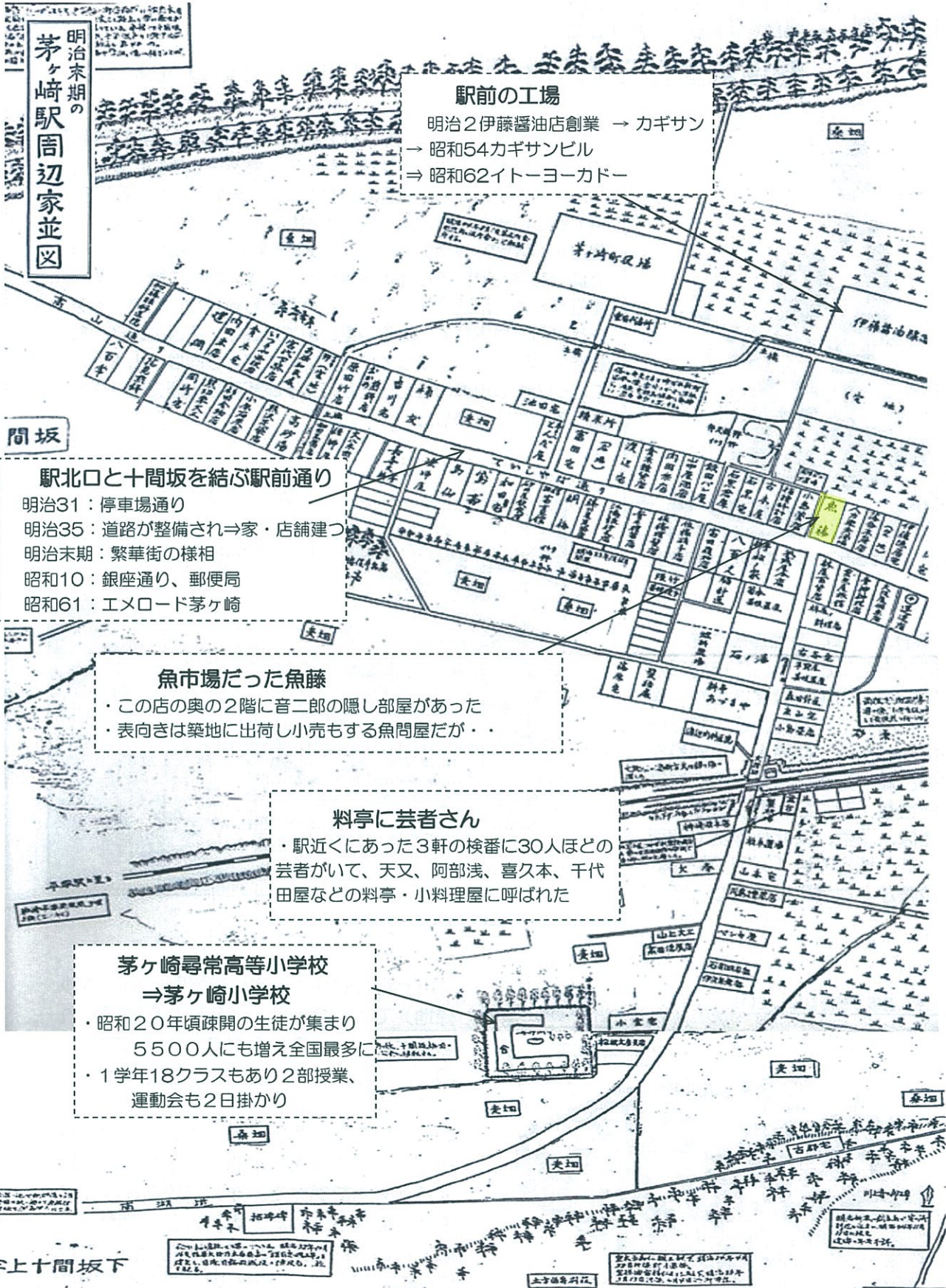
在りし日の「魚藤」(昭和37年頃)



魚藤の外観および内部イメージ(画 小林信幸)

川上音二郎も、自宅の萬松園(現:高砂緑地)での会合では、(警察から監視されるなど)色々不都合があったようで、そのため駅周辺に隠れ潜む場所が必要となり、かねてより親交のあった「魚藤」の部屋を借りていたと考えられる。中二階への入り口は、蒲団の押入れと皿や鉢など什器の物入れを兼ねた部屋で、すべて板襖(いただま)の引き戸になっていたため、分かり難かった。急で狭い階段を上がれば、北側はガラス戸、開けば屋根伝い、西側は廊下があり手摺(てすり)で仕切っており、となりの屋根、危険を察知すれば、どの様な事になっても逃亡出来る態勢が取れる部屋であった。

明治末期の  
茅ヶ崎駅周辺家並図



**駅前の工場**  
 明治2伊藤醤油店創業 → カギサン  
 → 昭和54カギサンビル  
 → 昭和62イトーヨーカドー

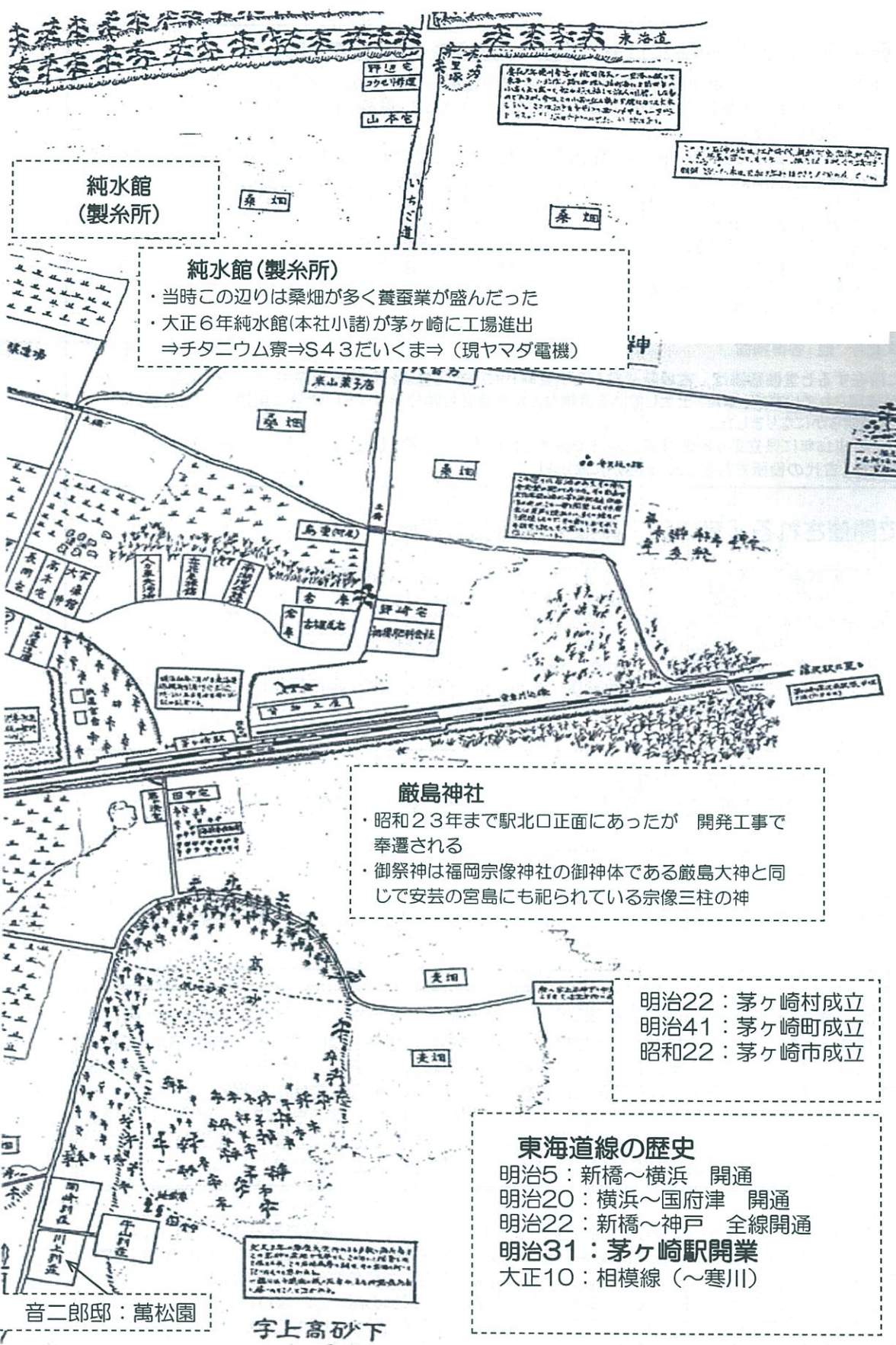
**間坂**  
 駅北口と十間坂を結ぶ駅前通り  
 明治31：停車場通り  
 明治35：道路が整備され⇒家・店舗建つ  
 明治末期：繁華街の様相  
 昭和10：銀座通り、郵便局  
 昭和61：エメロード茅ヶ崎

**魚市場だった魚藤**  
 ・この店の奥の2階に音二郎の隠し部屋があった  
 ・表向きは築地に出荷し小売もする魚問屋だが・

**料亭に芸者さん**  
 ・駅近くにあった3軒の検番に30人ほどの  
 芸者がいて、天又、阿部浅、喜久本、千代  
 田屋などの料亭・小料理屋に呼ばれた

**茅ヶ崎尋常高等小学校  
 ⇒茅ヶ崎小学校**  
 ・昭和20年頃疎開の生徒が集まり  
 5500人にも増え全国最多に  
 ・1学年18クラスもあり2部授業、  
 運動会も2日掛かり

宇上十間坂下



純水館  
(製糸所)

**純水館(製糸所)**  
 ・当時この辺りは桑畑が多く養蚕業が盛んだった  
 ・大正6年純水館(本社小諸)が茅ヶ崎に工場進出  
 ⇒チタニウム寮⇒S43だいくま⇒(現ヤマダ電機)

**厳島神社**  
 ・昭和23年まで駅北口正面にあったが 開発工事で  
 奉遷される  
 ・御祭神は福岡宗像神社の御神体である厳島大神と  
 同様に安芸の宮島にも祀られている宗像三柱の神

明治22：茅ヶ崎村成立  
 明治41：茅ヶ崎町成立  
 昭和22：茅ヶ崎市成立

**東海道線の歴史**  
 明治5：新橋～横浜 開通  
 明治20：横浜～国府津 開通  
 明治22：新橋～神戸 全線開通  
 明治31：茅ヶ崎駅開業  
 大正10：相模線(～寒川)

音二郎邸：萬松園

宇上高砂下

この地図は、石塚好居様が古老の記憶を基に昭和51年作図されたもので、許された目的に沿って掲載させて頂いております。

## 「発掘された日本列島2011」に出展！七堂伽藍跡・高座郡衙跡

文化庁等の主催で開催される、重要な遺跡・遺物の最新発掘速報展「発掘された日本列島2011」。

今回は、年間8,000件ほどの発掘調査のなかから、特に注目される21遺跡、約500点の出土品が集められ、全国5つの博物館を巡回します。

毎年、その年の日本を代表する発掘調査の結果が展示されますが、その1つとして茅ヶ崎市下寺尾の七堂伽藍跡や高座郡衙跡の調査が選ばれました。ぜひこの機会に、日本に誇る茅ヶ崎の遺跡をご覧ください。

- 1 日程・会場
- |                                   |                                       |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| ① 6月11日(土)～7月31日(日)<br>東京都江戸東京博物館 | ④ 11月15日(火)～12月18日(日)<br>九州歴史博物館      |
| ② 8月9日(火)～9月11日(日)<br>新潟市歴史博物館    | ⑤ 平成24年1月2日(月)～2月14日(火)<br>東京都江戸東京博物館 |
| ③ 9月23日(金)～10月30日(日)<br>静岡市立登呂博物館 |                                       |

### 2 主 催 文化庁 他 各博物館

市内下寺尾に所在する七堂伽藍跡は、古墳時代末から平安時代にかけて営まれた古代寺院で、中心となる伽藍範囲や主要建物が確認されています。また、出土している遺物などから海老名国分寺より古い時期に創建された初期段階の寺院であることが明らかになりました。

高座郡衙跡は、平成16年に県立茅ヶ崎北陵高校地内で発見された遺跡で、掘立柱建物を中心とした郡庁や正倉などの遺構群が確認され、古代の役所であることが明らかになりました。

## 茅ヶ崎市で開催される「音二郎・貞奴」関連記念事業

- 「川上音二郎・貞奴展」 2011年9月10日～11月27日 茅ヶ崎市美術館
- 芝居講談「マダム貞奴」 出演 神田 紅氏 2011年11月3日(木)  
講 談 13時30分開場 14時開演 茅ヶ崎市民文化会館小ホール (1,500円)  
講演会 17時30分開場 18時開演 茅ヶ崎館 (事前申込み制 3,000円 軽食・ドリンク付)
- トークライブ「音二郎・貞奴を語る」 出演 長谷川法世氏他  
2011年11月12日(土) 13時開場 13時30分開演 茅ヶ崎市民文化会館小ホール  
・・・詳しくは各会場にお問い合わせください・・・

### ちがさき丸ごと博物館主催 講演会

#### ◆「世界を翔けた女 川上貞奴、隠し部屋と音二郎」

////// 日時 9月3日(土) 14時～16時 講演者 山本隆氏 長嶺敬子氏//////

場所 市役所分庁舎5階A・B会議室

定員 先着60名

申込 8月15日(月)から 社会教育課にて受付 (電話 0467(82)1111内線3342)

## ちがさき丸ごとふるさと発見博物館何？

茅ヶ崎市の全域を屋根も壁もない博物館と見立てて、文化、歴史、自然、産業、商業、公共施設、人材など、このまちらしさをもついろいろな事柄を幅広く選り出し、これらを都市資源と呼ぶことにしました。これらの都市資源を調査・研究し、それぞれがもっている意味や魅力を広く市民に周知する一方、それぞれを関連付けて散策や各種イベントなどで活用を図ることにより、本市を改めて知り、本市を愛する心を育み、ひいてはまち全体の活性化を図ろうとするものです。そして、都市資源は地域のかげがえのない宝物として、地域により保護され育てられていくことになります。住民が、自分たちの地域の未来のために、自分たちの考えと力で運営していく姿勢を特に重要視しています。

### 編集後記

今回は茅ヶ崎市美術館の企画に合わせて、将来へ語り継がなければならない都市資源である「音二郎・貞奴」について、丸ごと博物館の会員の勉強と広報を兼ね編集を行いました。茅ヶ崎ゆかりの川上音二郎の妻貞の一生を語るのに欠かせない伊藤博文(初代総理大臣)、福沢桃介については長嶺敬子さんの長年にわたる精力的な取材、音二郎隠し部屋を勉強部屋に使っていたという山本隆さんの明治から戦後の茅ヶ崎駅周辺の話など、盛りだくさんの内容になりました。9月3日のちがさき丸ごと博物館主催の講演会では、興味深いお話をたっぷり聞くことができますので、テキストでもあるこの季刊誌をご持参のうえ、ぜひご参加ください。心より歓迎いたします。(m.t.)